

「言語を好きに」 スペイン語伝授

英留学の大城さん母校で



自分でクイズ問題を設定できるオンラインゲーム「Kahoot」を利用し、スペイン語の授業をする大城朱璃さん(右)＝那覇市楚辺のオキナワインターナショナルスクール

那覇市出身で英国に留学中の大城朱璃さん(17)は、「英語だけでは国際社会で武器にならない」と痛感している。夏休みで帰沖し今月、母校のオキナワインターナショナルスクール(OIS、那覇市)で週3回、スペイン語講座を開いた。「先輩にも第3言語を習得してほしい」との思いからだ。

「ムーチョ グストー!」(はじめまして)。「屋下がりの教室に、子どもたちの弾む声が響いた。7日、教壇に立った大城さんは自作のレジュメやスライド、クイズ

が作れるアプリ「Kahoot」を使用。スペイン語の単語や構文だけでなく、スペインの歴史や文化、習慣も教えた。

講座を受けた徳田妃奈乃さん(15)は「スペインで流行している歌を聴けたのが印象的。難しいけど、朱璃姉ちゃんが楽しませてくれる」と笑顔。大城さんの「言語を好きになる」というモットーがしっかり伝わったようだった。

大城さんはOISの小学部を卒業し、中学からは英国で有数のエリート校に進学。世界各国から生徒が集

まる寮生活で、「国際社会では複数の得意分野が必要」と気付いた。劣等感に苦しんだが、いつも自分を気に掛けてくれるスペイン語の教諭に救われた。

昨年のテストでは、ほとんどの科目で最高評価を取った。大学進学は英国ケンブリッジ大学など世界トップ校を狙うが、将来の夢は「まだ決めたくない」という。今の自分には想像できないような経験をしたい。数年後、視野が広がった自分はどうな人になったかっているかな」と胸をときめかせた。(社会部・宮里美紀)